

下地区まちづくり通信

年頭のあいさつ

下地区地域振興会

会長 尾上 清逸

新年あけましておめでとうございます。

地域住民の皆様には昨年来、新型コロナウイルスにより日々何事にも不都合な生活状況の中、ご清祥で輝かしい新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

日ごろより、地域の事業活動の推進にご理解とご協力を賜り深く感謝するものであります。

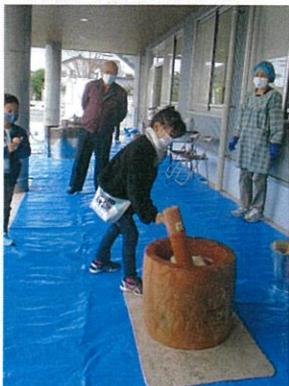
昨年は、日本全体で数々の制約が課せられ、地域振興会の事業でも日ごろの活動中止が日常茶飯事になりました。

地域の皆様には、ご案内のとおりコミュニティセンターの改修に伴う外構工事も完成し、公共用地の利活用で敷地内に下村郵便局の移転新築工事が着工することになり、公共施設の集約に伴い利便性の高い地域となりました。

今後は、コロナウイルスの状況にもよりますが、施設等の整備が完了を見ましたので、利活用について工夫をかさね、地域づくりの活動拠点としてまいります。

振興会が、現在取り組んでいる支え合いネットワーク事業になるよう対応してまいります。結びに、本年が皆様にとって素晴らしい年になりますようにご祈念申し上げます。

わたしは、一人で
ぺったんこ



お父さんといっしょに
ぺったんこ



息を合わせて



ちぎった餅にあんこやゴマ、きな粉を付けて、出来上がり



三世代交流の集い 「もちつき大会」

十二月五日（日）

昨年に続いて、下地区社会福祉協議会主催の三世代交流の集い「もちつき大会」を実施し、つきたての餅を参加者の皆さんに無料で配布しました。

和の心を感じた「茶道教室」十月二十七日(水)

六年担任 村田 夏樹

六年生が講師の米原先生へお礼の手紙を書きました。お手紙より



秋晴れの気持ちの良い日の午後、六年生十一名が下村コミュニティセンターで、茶道体験をさせていただきました。米原先生と片岡先生の丁寧な指導の下、まずは季節を感じる「紅葉」の生菓子をいただきました。お菓子の取り方や黒文字の使い方、しまい方など、一つ一つの所作を確認しながら、じっくりと味わいました。その後、先生に点てていただいたお茶を飲んだり、実際に自分でお茶を点てたりする体験を行いました。



長時間の正座で、足のしびれを感じていた子どもも、数名いました。しかし、米原先生が、足のしびれを早く治す座り方を教えてくださったり、優しく声をかけてくださいました。その後、先生も子どもたちは最後まで集中を切れども、先生に教えるとお盆の上にどのように置くのかもとても難しかったけれど、先生に教えるとお盆の上にどのようになります。これからも、お茶の文化にふれてみたり、やってみたりしたいです。



六年 表
采未



六年 中田 晴心

今日は、お茶の仕方を教えてくださりありがとうございました。ぼくは、保育園の時、何回かしてたけれど、どのようにするのかを忘れていたので、やつてみると難しかったです。飲んでみるととてもおいしかったです。茶碗の持ち方や飲み方などたくさんマナーはあることが分かりました。次に自分でやつてみるとお盆の上にどのようになります。お盆の上にどのようになります。お盆の上にどのようになります。

三世代ふれあいクッキングセミナー

七月三十一日 (土)

食生活改善推進協議会下支部主催で開催しました。好き嫌いをテーマにした紙芝居や富山に関する食育のかるた、一日の野菜の摂取量350gを皿に取り、計測したりなどしました。日常の生活を振り返るとともに、これからの生活に生きかせるのではないかと思われ、有意義な時間となりました。



世代間交流会

十月二十九日（金）

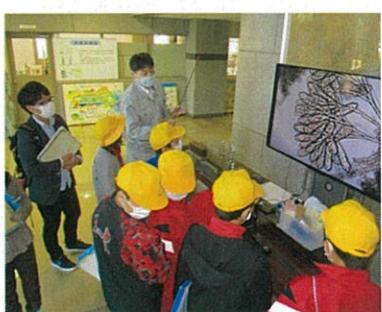
本来であれば保護者や地区の方々も参加し、三世代そろっての行事であると伺っていましたが、新型コロナウイルスの影響で本年度は児童のみで参加しました。

子どもたちの感想を見ると「家族に伝えたい」「家族に教える」と書いている子どももいました。今回参加できなかつた保護者の方にも子どもたちが見たり聞いたりしてきたことを伝えることで、世代間の交流ができたのではないかと思います。

クリーンピア射水や県下水道公社は、自分たちが出したごみや汚した水を処理する施設であり、子どもたちの生活と直結しています。子どもたちは、興味津々で身を乗り出して見学したり、知りたいことは積極的に質問したりしていました。また、ごみの出し方に気を付けようと考えるなど、学んだことを自分たちの生活に生かそうする姿も見られました。学びの多い世代間交流会になりました。

「世代間交流会で学んだこと」

四年 中田 湖心



ビンやペットボトルを出すときは、きれいに洗つて持つていきたいし、油や紙などは、流さないようにしたいです。今日、学んだことは、家族にも教えてあげたいと思います。

「世代間交流会に行つて」

四年 刑部 龍生

世代間交流会でクリーンピア射水に行きました。中に入ると温泉がありました。僕はなぜごみ処理場に温泉があるのか疑問に思いましたが、ごみを燃やした熱を利用してお湯を沸かしているそうです。次に、ごみピットに行きました。ごみピットにはクリーンがあり、何度もごみをつかんで持ち上げては、ごみを落としていました。なぜ、そんなことをするのだろうと思つて質問すると、燃えやすくするために、ごみを細かくしているそうです。また、クリーンが壊れると大変なので、壁にぶつからないように慎重に操作しているそうです。最後にリサイクルごみの分別場へ行きました。ペットボトルのラベルが付いているものは手作業で一つずつはがしているそうです。ペットボトルのラベルはきちんととはがして捨てたりしつかり分別して出したりしたいと思います。

リサイクルされる
ペットボトル
臭いをシャットアウト
するエアカーテン



作品展示会

十二月一日（水）～十一日（土）

本年度は「ふれあい里まつり」を展示のみに縮小して、下村コミュニティセンターの廊下に各サークルや児童館の作品、各種団体の活動の様子を展示しました。

微生物は、働いている

「下地区支え合いネットワーク事業」

本事業は、いつまでも住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けることができるよう地域で支え合っていくことを目指しています。五年目を迎えた下地区では、百歳体操を中心とした六ヶ所の『集いの場』を週一回以上開催し、八十名程度の参加者が、自身の健康を考え、楽しく続けておられます。コロナ禍の中でも家で体操などを続けられ、健康寿命を伸ばす力への想いが広がりつつあると思われます。

また、買い物困窮者の増加を考慮し、コミュニティバスを利用してのスーパーへの買い物体験ツアーを開催したところ買い物をゆっくり楽しめた参加

者の方々が多く、帰りのバスの中も笑顔でした。十月のネットワークデーには、ミニ認知症講座を実施し、笑いと共感にあふれた小杉爆笑劇団の演技を通して見えてきた活動を今後も考えていけるように高齢者の方の困り感に寄り添つていけるようなります。

手すり（白石）



第1回ネットワークデー
10月23日（土）



第2回ネットワークデー
12月2日（木）



第1回ネットワークデー
10月23日（土）



100歳体操



生涯学習事業

「和布教室（鞠）」

十二月十一日（土）

十月六日（水）・十三日（水）
コロナ禍のため、九月に予定をしていた教室を一ヶ月遅れで開催しました。使う八枚の布を選ぶ楽しさがありました。かわいい「鞠」になりました。作品は作品展示会に出品しました。



男女共同参画推進委員会主催、ヘルスボランティア下地区共催で「香り袋を作ろう」を開催しました。乾燥したフジバカラを入れた私だけの香り袋と香りの力アップができました。

「香り袋を作ろう」

十二月十一日（土）



お知らせ
下村コミュニティセンター職員の高野恭子さんが十一月末をもつて退職されました。
十二月一日より溝口有紗が勤務しております。よろしくお願いします。